

## 男女でつくる幸せあふれる奈良県計画

### 1 計画策定の趣旨

- ◆ これまで、男女共同参画及び女性活躍の推進に取り組んできたが、未だに課題となっている固定的性別役割分担意識の払拭、男女ともの働き方改革、女性の人権尊重などの取組を、引き続き、総合的かつ計画的に推進する。
- ◆ 男女共同参画社会の実現、女性活躍推進のため、新たな視点に立ち、特に、男女のワーク・ライフ・バランスの希望を叶える実効性のある施策を盛り込む。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大下における女性の負担増の状況を踏まえ、ウィズコロナ・アフターコロナの時代において、男女の活躍推進の可能性を秘めた「新しい働き方・暮らし方」を普及する。

### 2 計画策定の期間

令和3年度～令和7年度（5年間）

### 3 計画の位置づけ

- [以下の計画を一体策定]
- ◆ 男女共同参画社会基本法第14条に基づく「都道府県男女共同参画計画」(義務規定)
  - ◆ 奈良県男女共同参画推進条例第9条に基づく「男女共同参画計画」(義務規定)
  - ◆ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(以下「女性活躍推進法」)第6条に基づく「都道府県推進計画」(努力規定)

### 4 計画策定の経緯と今後の予定

- ◆ 平成28年3月 「女性の輝き・活躍促進計画(第3次男女共同参画計画)」策定(計画期間:平成28年度～令和2年度)
- ◆ 令和2年3月 奈良県女性活躍推進に関する意識調査の結果公表
- ◆ 令和2年7月 男女共同参画県民会議委員からの意見聴取
- ◆ 令和2年8月 第1回男女共同参画審議会における審議
- ◆ 令和2年11月 第2回男女共同参画審議会における審議
- ◆ 令和2年12月 第1回男女共同参画県民会議における意見聴取
- ◆ 令和2年12月～3年1月 パブリック・コメント実施
- ◆ 令和3年1月 第3回奈良県男女共同参画審議会における諮問・答申
- ◆ 令和3年3月 計画策定

### 5 計画の推進体制

- ◆ 県における推進体制
  - ・ 計画の所管部局であるこども・女性局を中心に、庁内関係部局と連携をとりながら、本計画を推進
  - ・ 知事の附属機関である「男女共同参画審議会」において、計画に記載した施策及び目標値の進捗を管理
- ◆ 民間との協働体制
  - ・ 県民・事業者・関係団体・行政等により構成する「奈良県男女共同参画県民会議」において、それぞれの団体の自主的な取組を支援するとともに相互連携
  - ・ 男女ともに働きやすい職場づくりを目指す「なら女性活躍推進倶楽部」の登録企業を中心に、民間企業等での女性活躍を推進
- ◆ 市町村との連携・協働
  - ・ 県との協働による人権尊重や男女共同参画の意識啓発・広報
  - ・ 市町村計画の策定支援により、当該地域の実情をふまえた男女共同参画・女性活躍に関する具体的取組を推進

# 計画の骨子

## 基本理念

奈良で働き暮らす男女が自らの力を最大限発揮して、  
ひとりひとりの幸せを実現し、発展する奈良県を目指す。

## 基本目標

- ▶ 「ワーク・ライフ・シナジー」の視点に立ち、仕事でも、生活でも、自分らしく力を発揮し、幸せを感じられる男女を増やす。
- ▶ 固定観念の払拭など社会全体の意識の変化を促し、誰もが働きやすく暮らしやすい活力ある奈良県をつくる。

## 目標達成に向けたプロセス

具体的な制度構築と普及を意識した施策により、まず個人の行動を促し、次に社会全体へと広げていくため、次のプロセスを進める。

### 1 「主体的に選択して過ごす時間」を意識した新しい働き方・暮らし方の普及

- 男女ともに、自らの力を発揮し、幸せや満足感を得られるように、「ワーク・ライフ・シナジー」の視点に立ち、「主体的な選択による時間」の意義を重視した、「新しい働き方、暮らし方」を推進。その際には、単に時間の負担を減らすのではなく、質的な向上を促すことも大切。

### 2 新しい働き方、暮らし方が生み出す男女の意識変容

- 新しい働き方、暮らし方の仕組みを整え、力を発揮して、幸せを実現できる男女が増えてくれば、周りの人の意識が変わってくる。女性の活躍を阻害していた無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)を含めた固定観念の払拭につながり、社会全体にその影響が及ぶ。

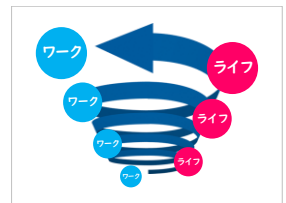
### 3 男女ともに活躍がもたらす奈良県の発展

- 社会の多くの男女の意識が変われば、男女がともに力を発揮しやすい土壌が整う。その中で、社会の担い手として力を発揮する男女も増え、働きやすく暮らしやすい活力ある奈良県をつくることができる。

#### 「ワーク・ライフ・シナジー」とは

「ワーク」と「ライフ」は相互に影響し合い、高め合う相乗効果(シナジー)を生み出すとする考え方。

「ライフ」を充実させることで、発想や人脈の広がり、健康の維持などの効果が生まれ、その経験を「ワーク」に活かすことで、「ワーク」の生産性がより高まっていくという好循環のスパイラル。



#### 目標達成に向けたプロセス(イメージ)

##### 1 施策

ワーク・ライフ・シナジーの視点に立った、新しい働き方、暮らし方の推進

##### 2 影響

男女の意識変容  
多くの人が行動を変えることにより、これまでの価値観が変化、固定観念を払拭

##### 3 奈良県(地域・社会)の発展

社会全体の意識が変わり、力を発揮する男女が増え、働きやすく暮らしやすい活力ある奈良県をつくる。

# 施策体系と評価指標

## 推進施策 1. 多様性を重視した、誰もが働きやすい環境づくり

### 対応方針

### 施策と取組の方向

1. 男性中心型労働慣行の是正と多様な働き方の推進

○男性中心型労働慣行の典型である長時間労働の削減 ○多様で柔軟な働き方の推進 ○個別の施策分野における働き方改革の推進 ○誰もが働きやすい制度・風土づくりの支援

2. 女性のキャリア構築支援

○女性のキャリア構築・継続支援 ○若年期からのキャリア教育 ○女性管理職登用の促進 ○農業分野における女性活躍の推進

3. 雇用の場の創出

○時間と場所に拘束されない仕事の創出 ○企業誘致による雇用の場の創出

4. 女性の再就職支援

○再就職希望女性と女性活躍を推進する企業等とのマッチング支援 ○再就職希望女性への相談支援 ○再就職のための職業能力向上支援

5. 女性の起業支援

○女性の起業支援 ○新しい起業スタイルの促進

## 推進施策 2. 男女がともに支えあう家庭生活の実現

1. 男性の家事・育児等への参画促進

○男性の暮らし方改革の推進 ○男性の育児休業取得促進 ○男性の家事・育児参画の意識づくり ○男女がともに支えあう家庭づくりの応援

2. 仕事と家事・育児・介護の両立支援

○地域全体で進める子育て支援の推進 ○市町村の子ども・子育て支援体制の充実 ○育児休業期の経済支援 ○保育所等の施設整備と保育サービスの充実 ○保育人材の確保 ○仕事と介護の両立支援と介護人材の確保

## 推進施策 3. 男女ともに暮らしの充実

1. 奈良で暮らす楽しみづくり

○県内イベントの充実 ○食の振興 ○スポーツの振興 ○文化活動の充実

2. 地域における活動の支援

○地域ボランティア活動等の支援

## 推進施策 4. 安全・安心な暮らしの実現

1. 困難な状況にある家庭・個人への支援

○生活困窮家庭への支援 ○ひとり親家庭への支援 ○困難を抱える子ども・若者への支援 ○児童虐待の防止 ○高齢者支援 ○障害者支援 ○多文化共生の推進と在在外国人支援 ○困難を抱える女性等への相談支援

2. 女性に対するあらゆる暴力防止

○配偶者等からの暴力(DV)防止と被害者支援 ○性暴力・性犯罪被害者支援

3. 健康な暮らしの推進

○生涯を通じた女性の健康推進 ○男女ともに健康長寿の推進

4. 防災・防犯分野における男女共同参画の推進

○男女共同参画の視点に立った防災・防犯活動の推進 ○災害ボランティア活動の支援

## 推進施策 5. 男女共同参画社会の基盤づくり

1. 女性の活躍を阻害する固定的性別役割分担意識の払拭

○男女共同参画・女性活躍の意識づくり

2. 社会の意思決定の場への女性の参画促進

○あらゆる分野における女性の参画拡大 ○県行政における女性活躍推進 ○教育分野における女性活躍推進 ○審議会における女性登用の促進

3. 幼少期からの男女共同参画教育の推進

○保育士・教員の男女共同参画社会づくりに関する意識向上 ○学校等における男女共同参画教育の推進

4. 市町村の男女共同参画推進への支援

○市町村の基盤づくり支援

5. 人権尊重の理念に基づく多様性への理解促進

○人権施策推進体制の強化 ○人権の教育・啓発を通じた意識醸成 ○人権相談の充実

## 評価指標

分類	指標	現状	目標値 (R7)	調査等
働き方に関する指標	希望した人が就業している割合 (20~64歳・女性)	84.6% (H29年)	90%	就業構造基本調査
	第一子出産前後の女性の就業継続率	52.8% (H30年)	70%	奈良県結婚・子育て実態調査
	管理的職業従事者における女性の割合	14.5% (H29年)	30%	就業構造基本調査
	長時間労働 (週60時間以上労働) の男性雇用者の割合	13.6% (H29年)	5%	就業構造基本調査
暮らし方に関する指標	家事関連従事時間の男女比 (女性/男性)	4.7 (H28年)	2.5	社会生活基本調査
	企業における男性の育児休業取得率	2.0% (R元年)	30%	職場環境調査 (奈良県)
	健康寿命の全国順位 (女性)	25位 (H30年)	1位 (R4年)	健康推進課調べ
考え方に関する指標	固定的性別役割分担意識に肯定的な人の割合	42.9% (R元年)	30%	奈良県女性活躍推進に関する意識調査
	ワーク・ライフ・バランスの優先度 (※1)の希望と現実の一致割合	女45.6% 男44.7% (R元年)	60% (男女とも)	奈良県女性活躍推進に関する意識調査
	「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」のうち、複数の活動に満足している人 (※2)の割合	女61.6% 男66.3% (R元年)	70% (男女とも)	奈良県女性活躍推進に関する意識調査

(※1)「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の3つに分けた活動のうち、何を優先するか。(複数の活動を優先することを含む)

(※2)「満足している」または「まあ満足している」の合計